


80年は打込ごともなく過ぎました。81年という年は私の年でもあり、又これ花まつりかけに飾りさげつけて今までどおり時好のことに力をいれたいと思っております。今年もどうぞよろしくおねがいします。

大館 水門前 大里ギク

明治42年生・栄町・無職



新年の挨拶、おめでとう。今年も主権を行使し、主権者としての責任を全うし、平和な世の中を築いていきたいと思います。

相馬 賢


明治42年生・大茂内・無職



新年の挨拶、おめでとう。今年も主権を行使し、主権者としての責任を全うし、平和な世の中を築いていきたいと思います。

山内 心美子

昭和20年生・粕田・主婦




新年の挨拶、おめでとう。今年も主権を行使し、主権者としての責任を全うし、平和な世の中を築いていきたいと思います。

長崎 徳弘

昭和32年生・池内・会社員

ございます


市民の皆さん、あけましておめでとう
ございます。
"1年の計は元旦にあり"といえます。
西年の皆さんの今年1年の抱負を年賀状
でいただきましたのでご紹介します。



80年の夜明けこそ慶家に悲劇をむらした年
ははたろう。
日本列島を覆った異様な大雪は東北地方を
中心に未曾有の被害
一説には天明の飢饉以来の大冷害といわ
れた。しかし吾々の祖先ははたはた
練にも耐え抜いてきた農業家だ。
百校がもう簡単に「へこたれて」たまるものか。今年も俺の年だ。
まっくらな農政に灯をともして精一は生きていきます。

小畑 正祐


昭和8年生・二井田・会社員



新年の挨拶、おめでとう。今年も主権を行使し、主権者としての責任を全うし、平和な世の中を築いていきたいと思います。

川口 小学校5年

昭和44年生・川口小学校5年



日々昇り 日々沈むのが
あたり前です
● 昔の何かに 出逢いたい...
目をふせずに
自分を見つめていれる
心の余裕をもっていたい...

1年で 前まっす
高橋 千鶴子

昭和32年生・板沢・会社員




小学校生活最後の
年一九八一年で
大切に明るく元気に
んばりたいていよう。

鳴海 剛

昭和44年生・城南小学校5年




私達農家の受け代た冷害打撃
は非常に大きいおまに加ま
り、今年も主権を行使し、主
権者としての責任を全うし、
平和な世の中を築いていま
す。

浅井 タケ

大正10年生・二ツ森・主婦



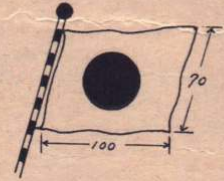
新年の挨拶、おめでとう。今年も主権を行使し、主権者としての責任を全うし、平和な世の中を築いていきたいと思います。

島山 幸四郎

明治30年生・神山・無職

お正月の話題

新年あけましておめでとう。一年の計は元旦にありといわれます。おせち料理とおとせをいただきながら「今年は何なことを...」と、新しい生活計画を立てておられることでしょうか。何かにつけて新しい出発点とされるお正月、そんなお正月の話題を二、三とりあげてみました。



「お屠蘇(そとく)」
元旦の朝、どこのご家庭でも、おとせを飲んで、新しい年を祝うのはごくありふれた情景です。このおとせというものは、もともと中国伝来の薬酒で、三国志で有名な関羽や張飛が活躍した三国時代の名臣、華佗(かた)が年間の無病息災、厄除のために山椒(さんしゅ)、肉桂(にっけ)、防風(ぼうふう)、桔梗(ききょう)など十数種の薬草を調合して、酒に浸して飲んだのが始まりとされています。

「日の丸」
日の丸の歴史は非常に古く、豊臣秀吉が御朱印船に日の丸を掲げさせたことと伝えられていますが、当時は単なる船印として考えられたと思われます。しかし幕末になると諸外国と交通が開けはじめたころ、島津家の船の旗印として新造船の白帆に朱の日の丸を書いたことに端を発し、その後明治三年一月二十七日太政官布告五十七号の商船規則で正式に日本国旗として制定されたものです。ちなみに正式の日の丸はタテ・ヨコの比率は、七〇対一〇〇で、日章の中心は旗の中心から旗竿側へ百分の一寄って円をかき、その直径はタテの長さの五分の三と決められています。諸外国は憲法で国旗を規定しているところが多いのですが日本では寸法について規格があるものの、国の公式制度はありません。



「睦月(むつき)」
一月のことを和名で睦月といいますが、年の始めとして一家はもちろん、隣近所の人がお互いにむつみ合う月ということから、この呼び名が生まれたものでしょうか。一説には陰暦の一月、福の実を水に浸して、そろそろ春の種まきの準備をしたということから、実月(むつき)ともいわれたようです。

新年あけましておめでとう。一年の計は元旦にありといわれます。おせち料理とおとせをいただきながら「今年は何なことを...」と、新しい生活計画を立てておられることでしょうか。何かにつけて新しい出発点とされるお正月、そんなお正月の話題を二、三とりあげてみました。